

2025年度第2四半期(中間期) 決算説明資料

- ※ 本資料に記載されている業績予想、並びに将来予測は、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠していますが、その正確性、或いは完全性について、当社は何ら表明、及び保証するものではなく、実際の業績は、様々な要因の変化により、記載されている業績予想、並びに将来予測とは異なる可能性があることをご承知おきください。
- ※ 本資料は百万円未満を切り捨てて表示してあります。



中越パルプ工業株式会社

目次



I. 2025年度第2四半期(中間期) 連結決算概要

1. 連結業績概要	1
2. セグメント別損益	2
3. 連結営業利益増減内訳	3
4. 連結有形固定資産増減明細	4
5. 連結キャッシュ・フロー計算書	5

II. 2025年度 連結業績予想

1. 連結業績予想	6
2. 連結営業利益増減内訳(計画)	7

III. 中期経営計画2025 取り組み状況

1. 概要	8
2. スケジュール進捗①②	9,10

3. 事業ポートフォリオ(売上高構成)	11
---------------------	----

4. nanoforest実用化、高機能CNF研究開発の加速	12,13
--------------------------------	-------

IV. トピックス

1. サステナビリティ(ESG)活動 -環境-	14
2. サステナビリティ(ESG)活動 -社会・ガバナンス-	15

V. 参考資料

1. 連結業績推移	16
2. 連結自己資本利益率(R O E)推移	17
3. 連結有利子負債残高推移	18
4. 連結設備投資・減価償却費推移	19
5. 原燃料価格推移(対2016年度比較)	20

連結業績概要



主な変動要因	(単位：百万円)	2024年度 中間期	2025年度 中間期	増 減
【価格】 <パルプ> ◆市況悪化等により輸出価格下落 <紙> ◇印刷用紙等の価格修正効果	売 上 高	55,572	53,052	▲2,520
【数量】 <紙> (国内) ◆紙需要の減退による生産・販売 数量の減少 (輸出) ◆アジア地域の需要減退 ◆中国からの輸出圧力の強まり	営 業 利 益	3,126	1,355	▲1,771
【コスト他】 ◆固定費、物流費、人件費等の 上昇によるコスト増 ◇マシンの効率生産による 原価低減	経 常 利 益	2,997	1,554	▲1,443
	親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 中 間 純 利 益	2,044	982	▲1,062
	中 間 配 当 金 (円 / 株)	35.00	40.00	+5.00
	自 己 資 本 利 益 率 (ROE) (%)	3.6	1.7	▲1.9
	減 価 償 却 費	3,062	3,084	+22
	為 替 レ ー ト (円 / US\$)	153.64	146.82	6.82円高
	ド バ イ 原 油 (US\$/bbl)	85	72	13安
	連 結 子 会 社 数 (社)	7	7	±0
	持 分 法 適 用 会 社 数 (社)	6	6	±0
増配(前年同期+5円/株)				

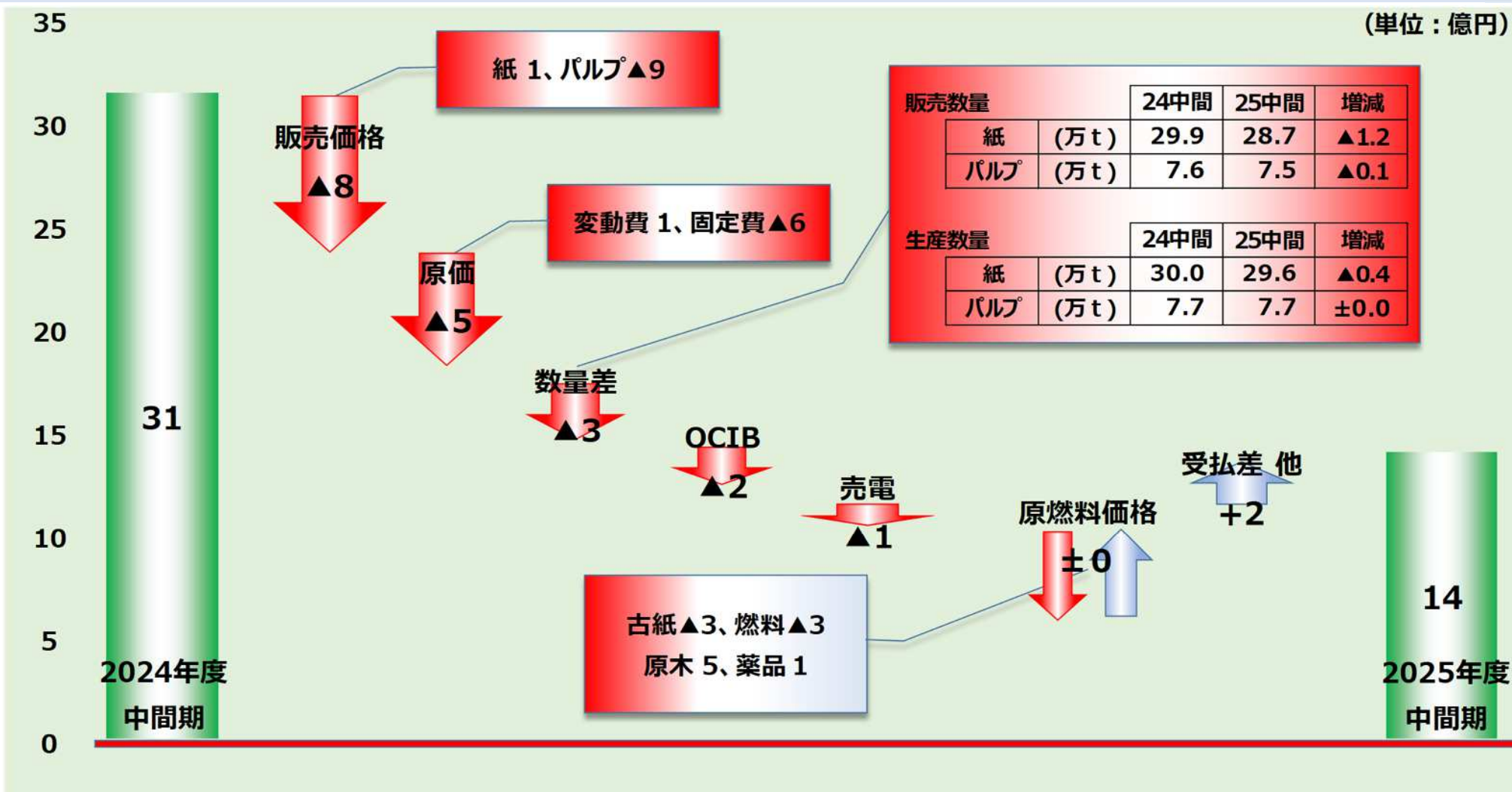
セグメント別損益



(単位：百万円)

		2024年度 中間期	2025年度 中間期	増減
紙・パルプ 製造事業	売 上 高	50,941	48,196	▲2,745
	セグメント損益	2,555	879	▲1,676
発電事業	売 上 高	2,805	2,803	▲2
	セグメント損益	314	250	▲64
その他	売 上 高	8,387	8,762	+375
	セグメント損益	235	203	▲32
調整額	売 上 高	▲6,561	▲6,709	▲148
	セグメント損益	22	23	+1
合計	売 上 高	55,572	53,052	▲2,520
	セグメント損益	3,126	1,355	▲1,771

連結営業利益増減内訳



連結有形固定資産増減明細

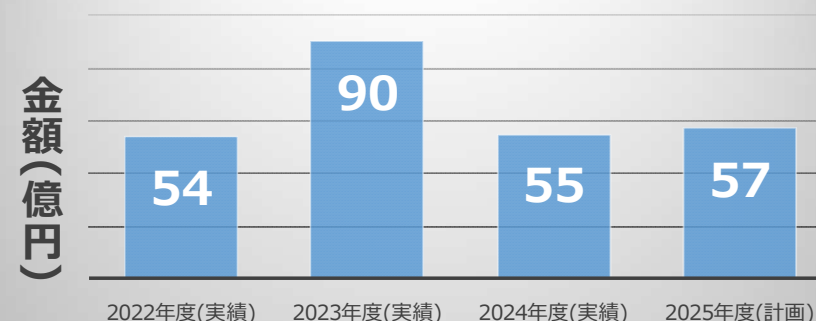


(単位：百万円)	2025年3月末	増 加	減価償却	除却等	2025年9月末	増 減
中 越 パ ル プ	48,826	2,717	▲2,895	▲16	48,632	▲194
連 結 子 会 社	3,780	160	▲141	▲14	3,785	+5
連 結 調 整	▲1,712	▲3	12	-	▲1,703	+9
合 計	50,894	2,874	▲3,024	▲30	50,714	▲180

主なる増加の内訳

・川内工場 5号発電機 回転子更新	5 億円
・川内工場 抄紙 安全対策通紙装置設置	3 億円
・高岡工場 新港No.4 BC更新	3 億円
・川内工場 6RB 排気筒更新	1 億円

設備投資額の推移



連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	2024年度 中間期	2025年度 中間期	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,183	422	▲2,761
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,570	▲2,094	+1,476
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,511	▲3,277	+234
現金及び現金同等物残高	6,661	4,076	▲2,585

営業活動によるキャッシュ・フロー内訳（億円）

減価償却費 31、税金等調整前中間純利益 14、仕入債務の減少額 ▲21、棚卸資産の増加額 ▲17 他

投資活動によるキャッシュ・フロー内訳（億円）

有形固定資産の取得による支出 ▲23 他

財務活動によるキャッシュ・フロー内訳（億円）

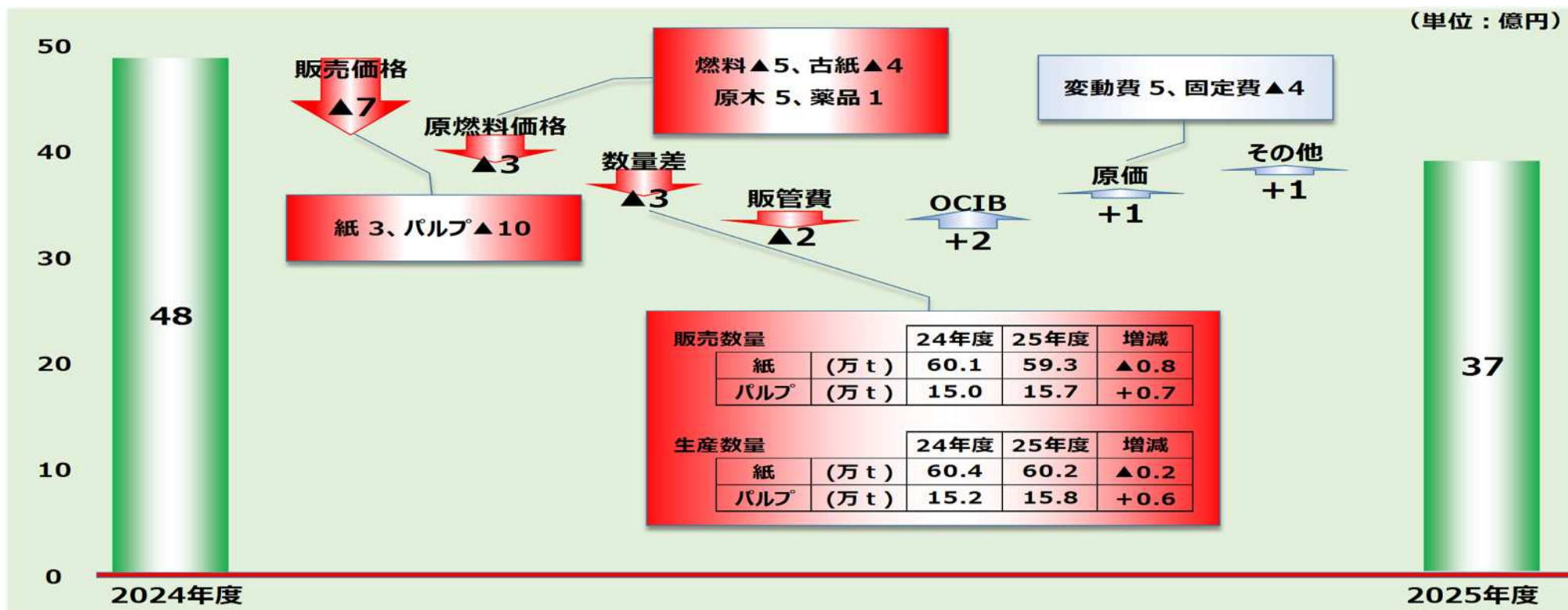
長期借入金の返済による支出 ▲28 他

連結業績予想



主な変動要因	(単位：百万円)	2024年度	2025年度	増 減
【価格】 <パルプ> ◆市況悪化等により輸出価格下落 <紙> ◇印刷用紙等の価格修正効果	売 上 高	111,009	110,000	▲1,009
【数量】 <紙> (輸出) ◆アジア地域の需要減退 ◆中国からの輸出圧力の強まり	営 業 利 益	4,843	3,700	▲1,143
<パルプ> ◇販売数量増	経 常 利 益	5,114	4,100	▲1,014
【コスト他】 ◆原燃料価格の上昇 ◇マシンの効率生産による原価低減 ◆固定費、物流費、人件費等の 上昇によるコスト増	親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	1,761	2,700	+ 939
	年 間 配 当 金 (円 / 株)	70.00	80.00	+10.00
	自 己 資 本 利 益 率 (ROE) (%)	3.1	4.6	+ 1.5
増配(前年度+10円/株)	減 価 償 却 費	6,165	6,200	+ 35
対US\$1円円安につき▲120百万円/年	為 替 レ ー ト (円 / US\$)	152.41	150.40	2.01円高
1US\$/bbl高につき▲60百万円/年	ド バ イ 原 油 (US\$/bbl)	81	73	8安
中越エコプロダクツ株式会社は 2025年度中に解散する予定としております	連 結 子 会 社 数 (社)	7	7	±0
	持 分 法 適 用 会 社 数 (社)	6	6	±0

連結営業利益増減内訳(計画)



【2025年度下期連結営業利益予想】

- ・前提条件 為替：155円/US\$、ドバイ原油：70US\$/bbl、原木・古紙価格：直近の実勢価格
- ・営業利益 23億円（年間37億円 - 上期14億円）
対上期：販売数量増、壁紙原紙等の価格修正効果、マシン効率生産による原価低減を見込む

中期経営計画2025 取り組み状況：概要



中期経営計画2025

- ①既存事業の構造転換（紙に占めるグラフィック用紙の比率減 75→60%）
 - (1)紙パルプ事業の生産体制再構築
 - (2)グループ関係会社事業の選択と集中による収益力強化
- ②森林資源を活用した環境投資・環境ビジネス推進

ビジョン2030

既存事業の発展・環境ビジネスの発展・イノベーションにより、森林資源の有効活用を通じた循環型社会の構築と持続可能な未来を実現する

<収益目標>

2025年度は国内紙市況、海外紙パルプ市況の急激な悪化により目標未達の見込みとなっています。

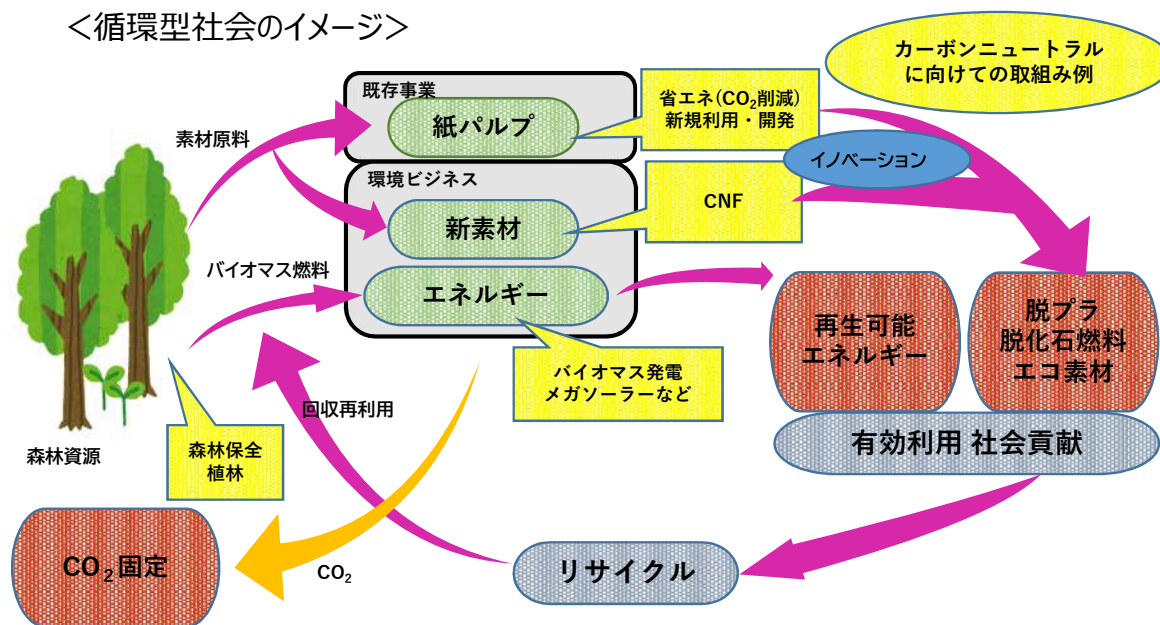
	中期経営計画目標	2023年度 (実績)	2024年度 (実績)	2025年度 (見込み)
営業利益	40億円	62億円	48億円	37億円
ROE	5%以上	6.9%	3.1%	4.6%

<2030年度 環境目標>

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、製造工程における化石燃料由来のCO₂排出量を2030年度までに2013年度比50%削減する。

	2013年度	2024年度	削減率 (2013年度比)
千t-CO ₂ /年	411	213	48.2%

<循環型社会のイメージ>



中期経営計画2025 取り組み状況：スケジュール進捗①



＜①既存事業の構造転換 進捗＞

		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
① 既存事業の 構造転換	(1)-Ⅰ 6号マシン停機	生産集約完了 ● 2022年9月末 高岡工場6号マシン停機				
	(1)-Ⅱ 家庭紙マシン新設		設置		稼働 ● 2024年2月営業運転開始	
	(1)-Ⅲ 事業領域拡大		パルプ増販 ● 生産体制強化完了			
		脱プラ需要など紙の新規利用の拡大 ● 2025年度外販パルプ販売見込み：2020年度比96.2%増				
	(2) 関係会社収益力強化	三善製紙営業権譲受完了・文運堂文具事業譲渡完了				

- 2024年2月に営業運転を開始した家庭紙マシンは順調に稼働し、品質においても好評をいただいています。今後もより一層の品質向上と生産効率向上に努めます。

中期経営計画2025 取り組み状況：スケジュール進捗②



＜②森林資源を活用した環境投資・環境ビジネス推進 進捗＞

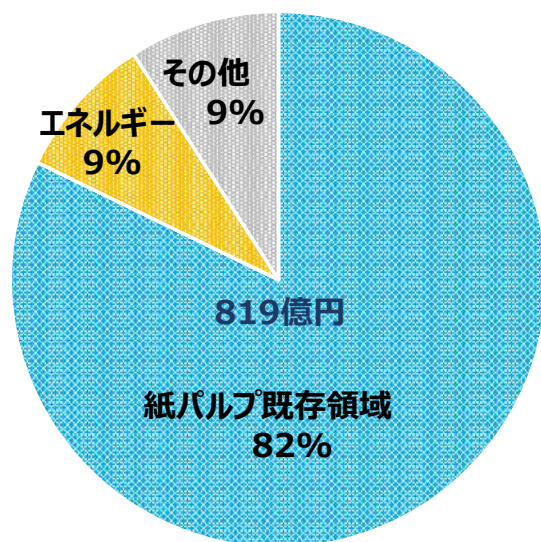
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
② 森林資源を活用した環境投資・環境ビジネス推進	I CNF実用化・開発加速	高機能CNF ▶ 設備検証テストの実施、及びサンプル販売を通じた利用拡大の推進 nanoforestの新たな分野への利用拡大 ●ゴム分野での新規採用(2025年10月)				
	II 中越エコプロダクツ	製造設備試運転完了 ▶ 品質確認完了後、営業運転				
	III バイオマス発電(検討)	検討				
	IV 既存ボイラー脱石炭	削減取り組み中 ●2025年度見込み：石炭使用量2020年度比90.6%削減(23,355t-CO ₂ 削減)				
	V 植林事業	2030年度までに1,000haを目標に実施中 ●2022年度より着手、順次拡大予定				

●ゴム素材にCNFを練り込んだ製品がカシオ計算機(株)様のアウトドアウォッチ「PRO TREK® (プロトレック)」のバンドに採用されました。CNFによる機能性向上のほか、環境配慮型素材の利用という面からも評価を受けています。

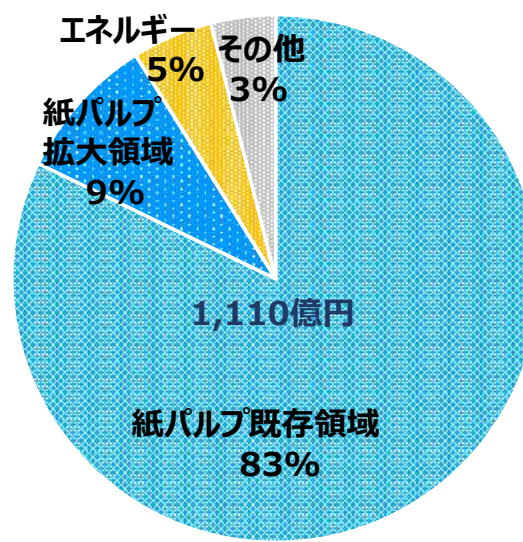
●合併事業会社である中越エコプロダクツ(株)は、共同出資会社である(株)環境経営総合研究所が破産手続きを受けたことにより、解散に向けた手続きを進めています。

今後は新たな事業の可能性を模索するとともに、新たな形態での事業化に向けた検討を進めていきます。

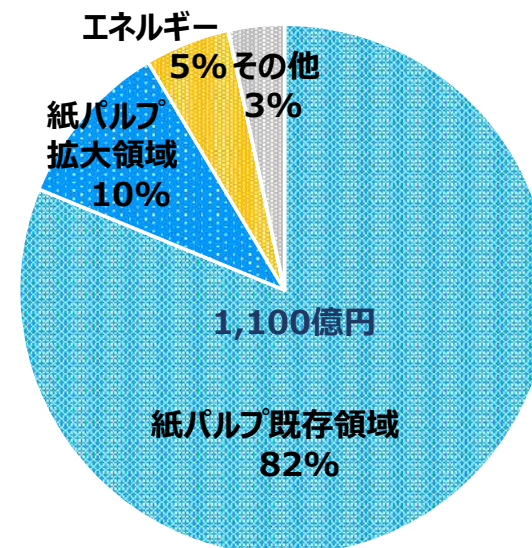
中期経営計画2025 取り組み状況：事業ポートフォリオ(売上高構成)



2020年度実績



2024年度実績



2025年度見込み

- 外販パルプの増販や衛生用紙上市の影響等により、10%の紙パルプ事業領域拡大(2020年度比)となる見込みです。
- エネルギー事業は総売上高の拡大や2024年度の一部の発電設備の停止の影響等により、4%減(2020年度比)となる見込みです。

中期経営計画2025 取り組み状況



nanoforest実用化、高機能CNF研究開発の加速（②-I）

新規分野への nanoforest 展開

・ゴム分野への nanoforest 利用

当社とカシオ計算機株式会社（以下、カシオ）は、数年前より環境負荷低減の取り組みとしてCNFの利用検討を進めており、この度、カシオのアウトドアウォッチ「PRO TREK®（プロトレック） PRW-B1000；2025/10発売」のデュラソフトバンドに、当社のCNFをゴム素材に練り込んだ製品が採用されました。

CNFは軽量・高強度なグリーンマテリアル素材として様々な分野での利用が検討されています。今回、樹脂やゴムに分散しやすい粉末状CNF「nanoforest®-PDP」をゴム素材に練り込み、腕時計のバンド用にカスタマイズしたもので、両社で試行錯誤を重ね、着用時のフィット感を重視させながらアウトドアでの使用に必要な強度や耐環境性能の付与を実現させました。

当社では、再生可能資源から製造されるCNFの実用化を推進し、気候変動への対応や資源循環の推進、脱炭素社会への実現といったグローバル課題の解決に向けた取り組みを、今後もお客さまと一丸となって進めて参りたいと考えています。



「PRO TREK®」PRW-B1000 （左）ブラウン （右）ブラック

*「PRO TREK®」はカシオ計算機株式会社の登録商標です。

中期経営計画 2025 取り組み状況



nanoforest実用化、高機能CNF研究開発の加速（②-I）

高機能CNFパイロットプラント建設に向けた取り組み

高解繊CNFは、川内工場に設置した実機設備での検証テストをほぼ終え、現在は製品及びサンプルの製造を行いながら、安定操業やコスト低減に向けた取り組みを行っております。高岡の研究室で検証テストを行っている疎水化CNF及びCNF成形体についても、高解繊CNF同様、製品及びサンプルの製造・販売を行い、客先からのフィードバックを品質や製造方法に反映させながら進めていますが、こちらは少し時間が掛かっている状況です。

昨今、社会情勢が刻々と変化し、客先からの要求品質も変わってきています。現行の検証設備における製造販売を通して利用拡大を図ると共に、状況の変化に合わせ、より環境を意識したプラントや製品設計への変更を図って参ります。

1) nanoforest-S（高解繊CNF）

従来品よりも解繊を進め、高機能製品への適応性を向上させたCNF

主な用途：化粧品、農業利用、工業利用

2) nanoforest-M（疎水化CNF）

有機溶剤やオイルなどへの分散性を向上させたCNF

主な用途：化粧品、工業利用（オイルの増粘効果があり、化粧品用途では触感が改善）

3) nanoforest-CMB（CNF成形体）

nanoforest-Sを脱水乾燥させた軽量高強度な固形状の成形体

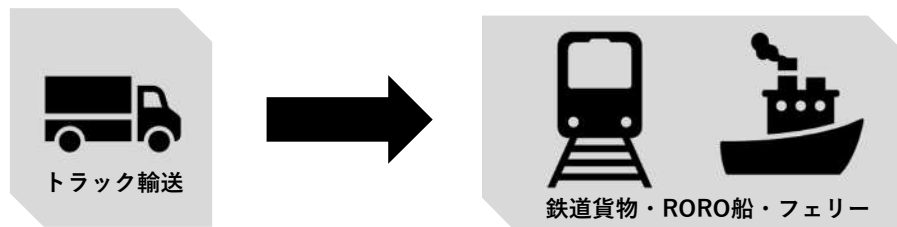
トピックス サステナビリティ（ESG）活動 -環境-



「ビジョン2030」にて掲げた「既存事業の発展・環境ビジネスの発展・イノベーションにより、森林資源の有効活用を通じた循環型社会の構築と持続可能な未来を実現する」ために、サステナビリティ活動を推進しています。

モーダルシフトの取り組み

当社では、環境負荷がより低く、
大量輸送が可能な輸送手段を活用する
取り組みを推進しています。



令和6年度

「エコシップマーク」優良事業者に認定



「エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会」において、
貨物輸送における海上貨物輸送を一定以上利用し、モーダル
シフトの推進及び環境負荷の低減等に資するものと認められた
ため、「エコシップマーク」優良事業者に、当社川内工場と
当社100%子会社の中越物産株式会社が認定されました。



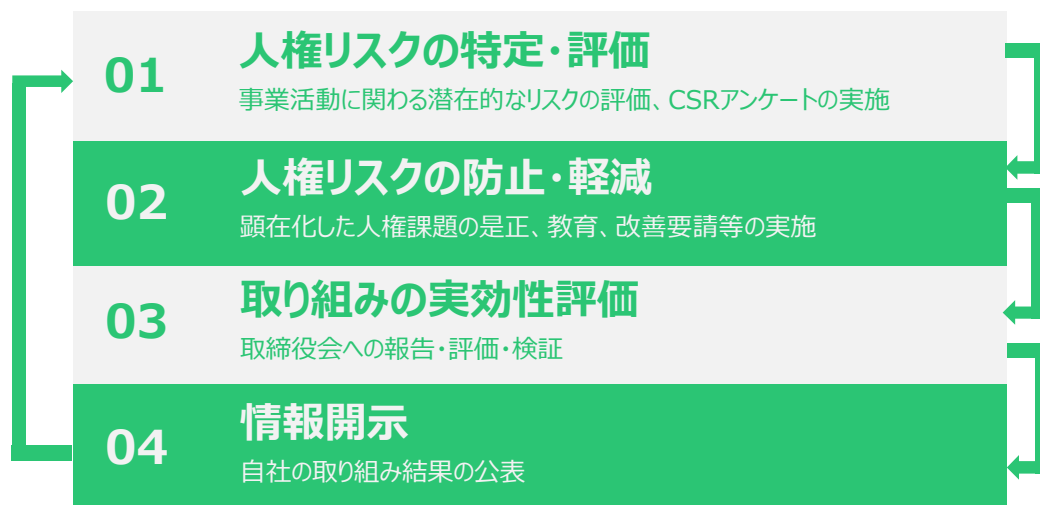
当社製品を輸送するRORO船



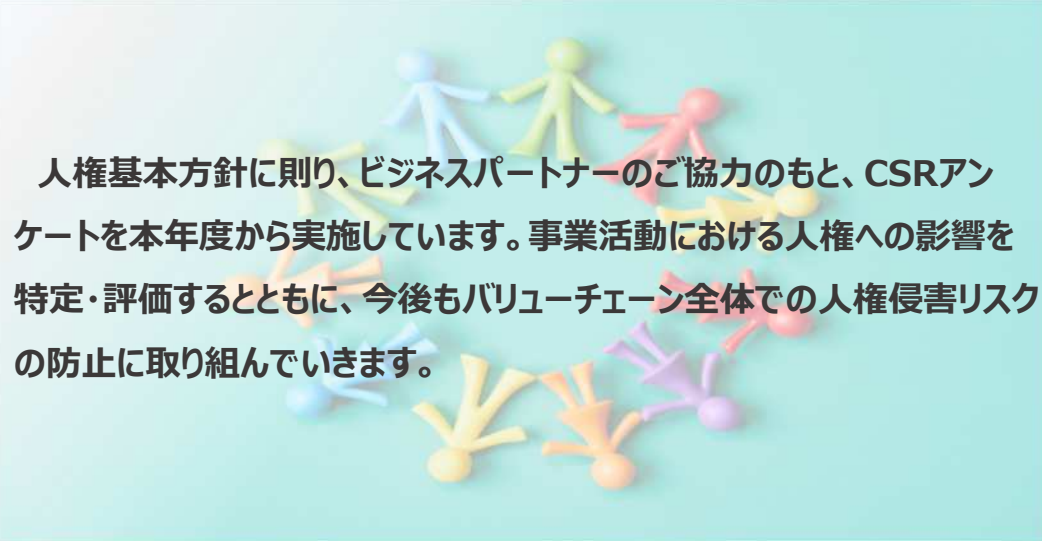
人権に関する取り組み

当社グループは、2025年3月に
「中越パルプ工業グループ人権方針」を制定しました。

人権デュー・ディリジェンス 実施フロー



人権デュー・ディリジェンスの取り組み

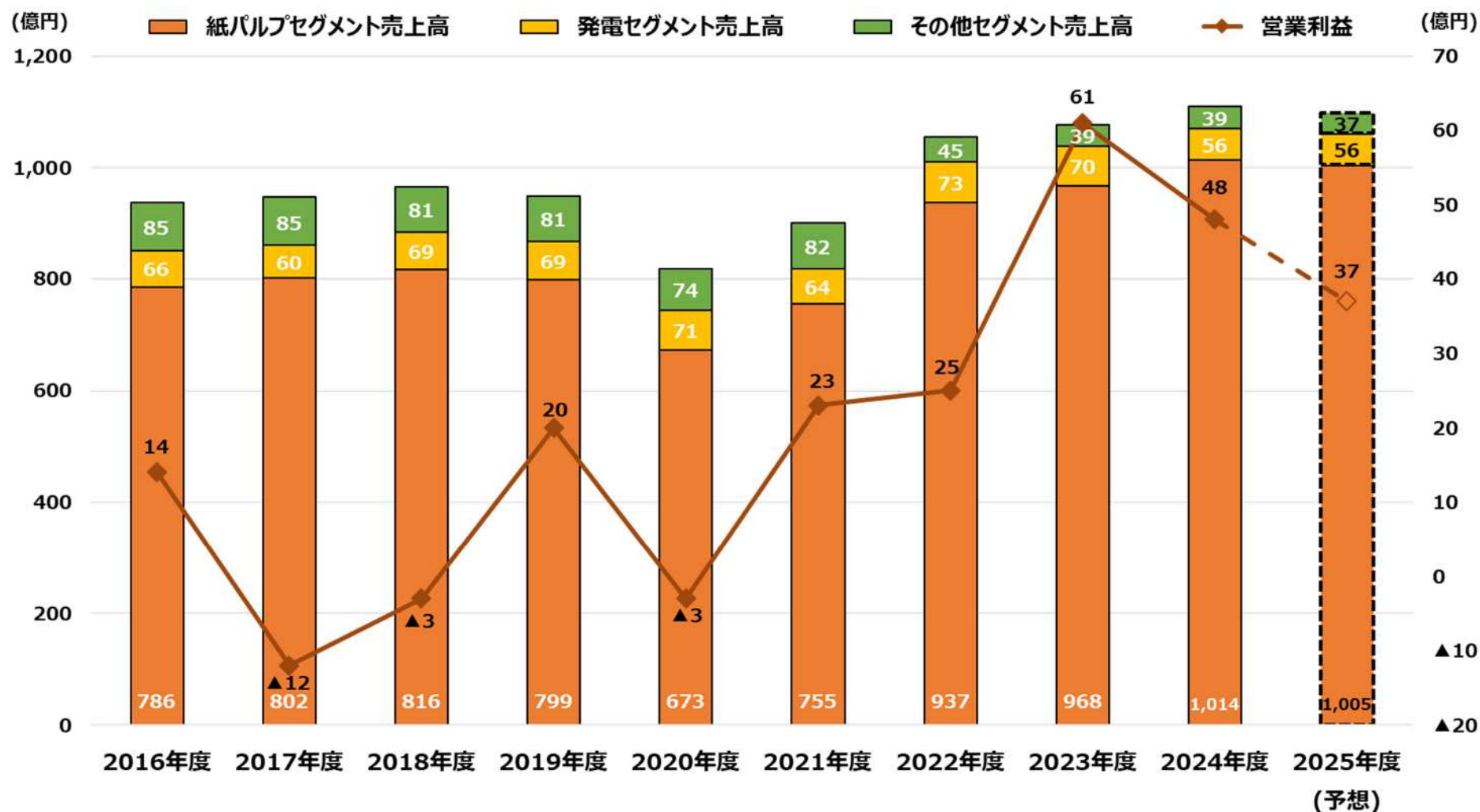


人権基本方針に則り、ビジネスパートナーのご協力のもと、CSRアンケートを本年度から実施しています。事業活動における人権への影響を特定・評価するとともに、今後もバリューチェーン全体での人権侵害リスクの防止に取り組んでいきます。

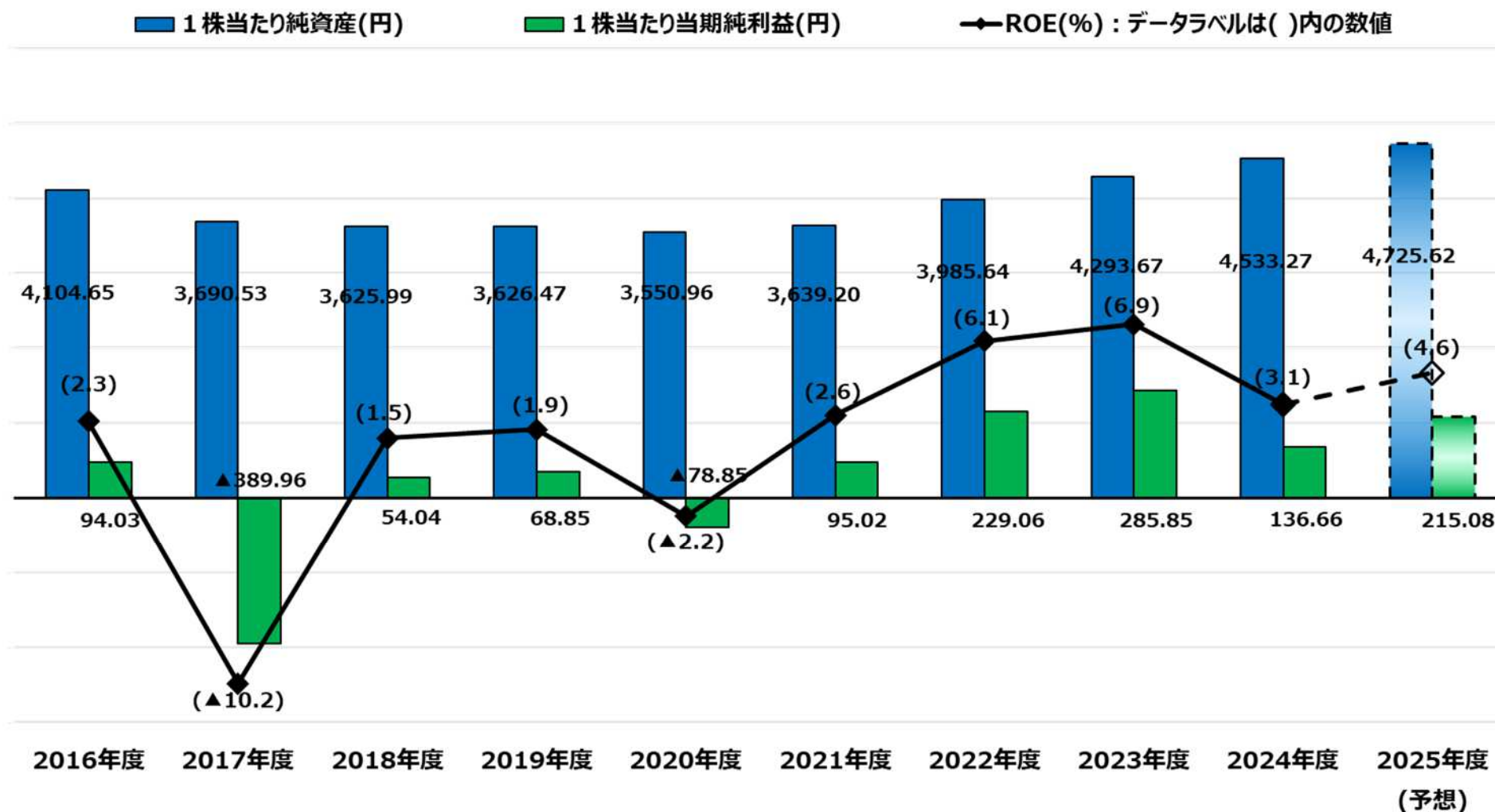
「中越パルプ工業グループ人権方針」は
当社ウェブサイトからご覧いただけます。



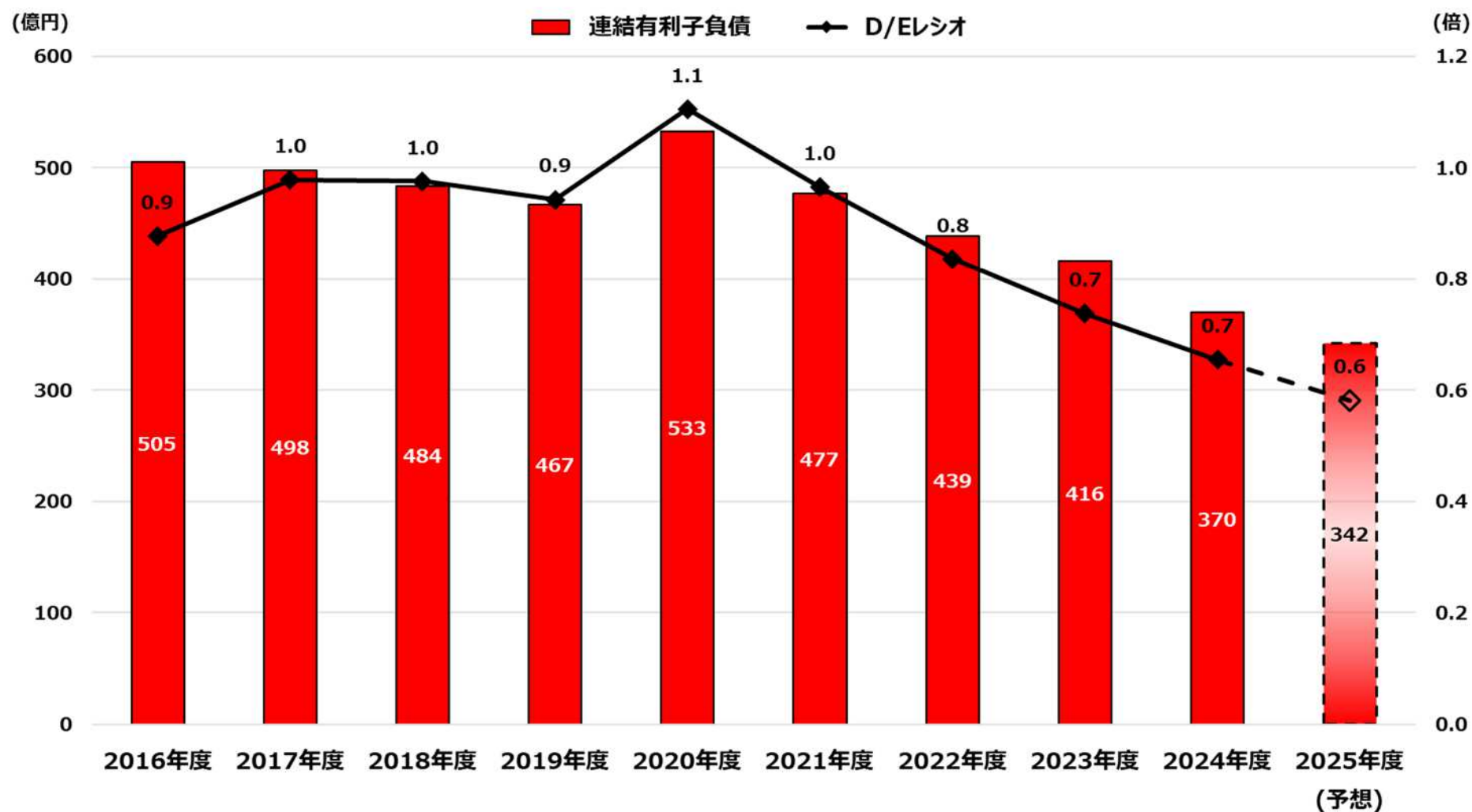
【参考資料】連結業績推移



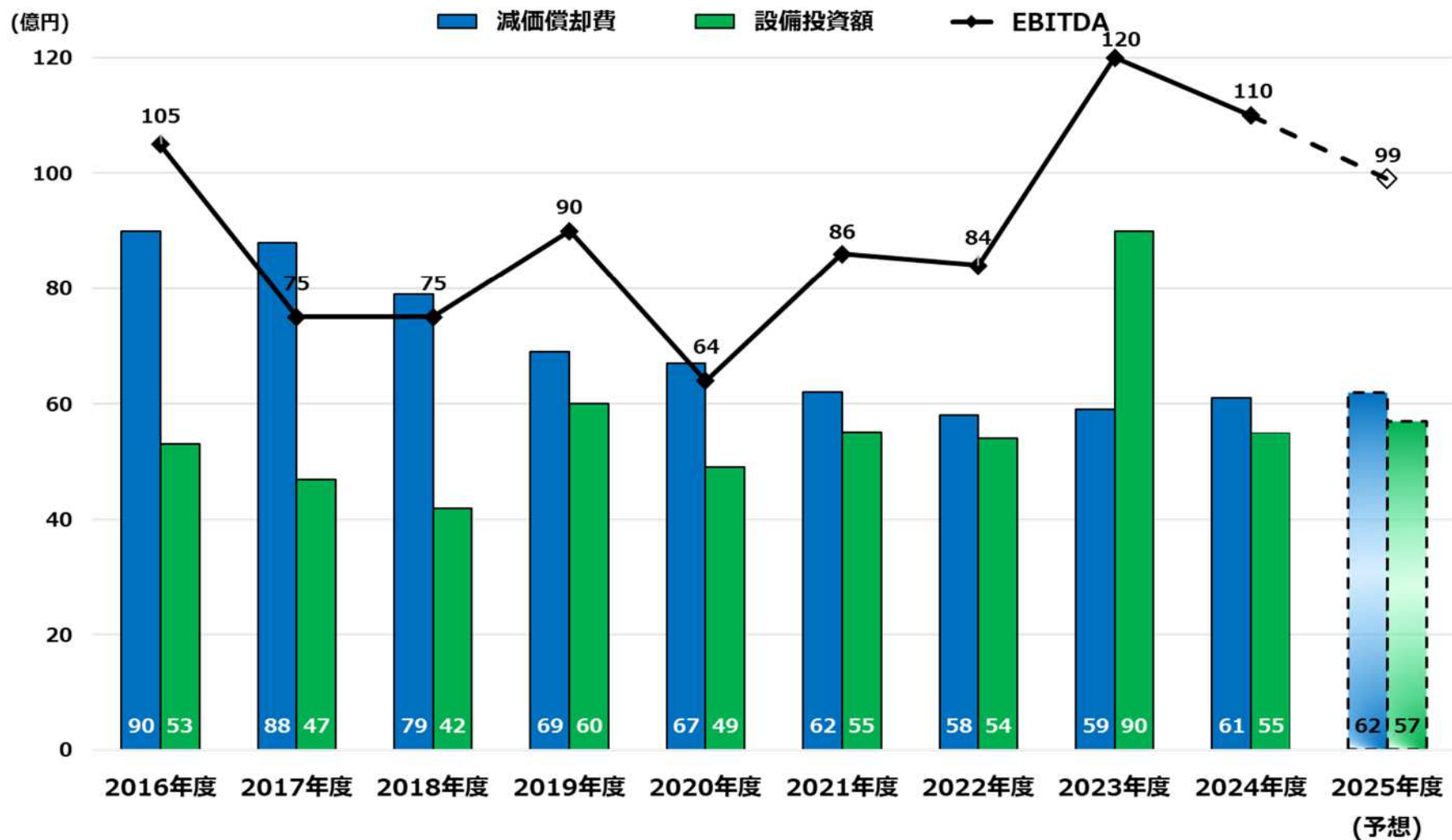
【参考資料】連結自己資本利益率(R O E)推移



【参考資料】連結有利子負債残高推移



【参考資料】連結設備投資・減価償却費推移



【参考資料】原燃料価格推移(対2016年度比較)

